

家庭教育に関する保護者意識調査

調査結果

令和3年10月
金沢市教育委員会

目次

I 調査の概要	2
II 調査項目と集計結果	3
(1) 子供の状況について	3
問1 デジタル機器の所持状況	
問2 デジタル機器の使用時間	
問3 家庭での学習時間	
問4 デジタル機器の利用に関する心配や不安	
問5 デジタル機器の利用で困ったことやトラブル	
(2) 子供との関わりについて	5
問6 子供と一緒に過ごす時間	
問7 子供とのコミュニケーション	
問8 コミュニケーションができていない理由	
問9 コロナで家庭で過ごす時間が増えたことによるよかったこと	
問10 コロナで家庭で過ごす時間が増えたことにより負担に感じたこと	
問11 子供の接し方やしつけで困ったときの相談相手	
問12 お子さんとの教育で日頃から特に心がけていること	
問13 家庭で教えるのが難しいこと	
(3) 子育てを通じた地域・学校等とのつながりについて	9
問14 保護者会等行事への参加状況	
問15 保護者会等の行事に参加していなかった理由	
問16 保護者会等の行事に参加を促すための取り組み	
(4) 教育委員会の家庭教育推進事業について	10
問17 家庭教育の指針「8つのすすめ」の認知度	
問18 家庭教育を推進するために必要な取り組み	
問19 効果的な情報発信手段	
(5) 回答者の属性	12
III 調査票	14

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、平成27年度に策定した金沢市生涯学習進行基本計画において、「家庭における教育力の向上」を基本的方向性の1つに掲げ、本市がめざすべき家庭教育のあり方や取り組むべき施策の検討を進め、平成29年に家庭教育に関する指針「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」を策定しました。合わせて、家庭教育に関する指針に基づき、家庭教育の推進を図る具体的施策を体系化した「金沢市家庭教育推進プログラム」を策定しました。

現在のプログラムが令和3年度末で期間が満了することから、次期家庭教育推進プログラムの参考とするため本調査を実施しました。

家庭教育の充実をめざした新たな施策につなげるため、保護者の子供との関わりや、保護者自身の家庭教育に対する意識等を把握するとともに、本市がこれまで取り組んできた家庭教育に関する事業の認知度や、保護者ニーズについて把握することを目的としています。

2 調査の方法等

- ①対象地域……………金沢市全域
- ②対象者……………「保育所・幼稚園等(注1)の年中児童」「小学校4年生の児童」
「中学校2年生の生徒」の保護者(注1:保育園・認定こども園も含む)
- ③対象者の抽出方法…令和3年7月7日現在の住民基本台帳より、該当者(児童・生徒)を無作為に抽出。但し、男女数は同数とする。
- ④調査方法……………調査票を郵送し、郵送又はインターネットにより無記名回答。
- ⑤調査基準日……………令和3年7月7日
- ⑥調査期間……………令和3年7月20日から8月20日

〔配布・回収結果〕

区分	年中児童	小学校 4年生	中学校 2年生	合計
配布数(件)	1,000	1,000	1,000	3,000
回収数(件)	562	515	532	1,609
回収率(%)	56.2	51.5	53.2	53.6

3 集計・分析にあたっての注意点

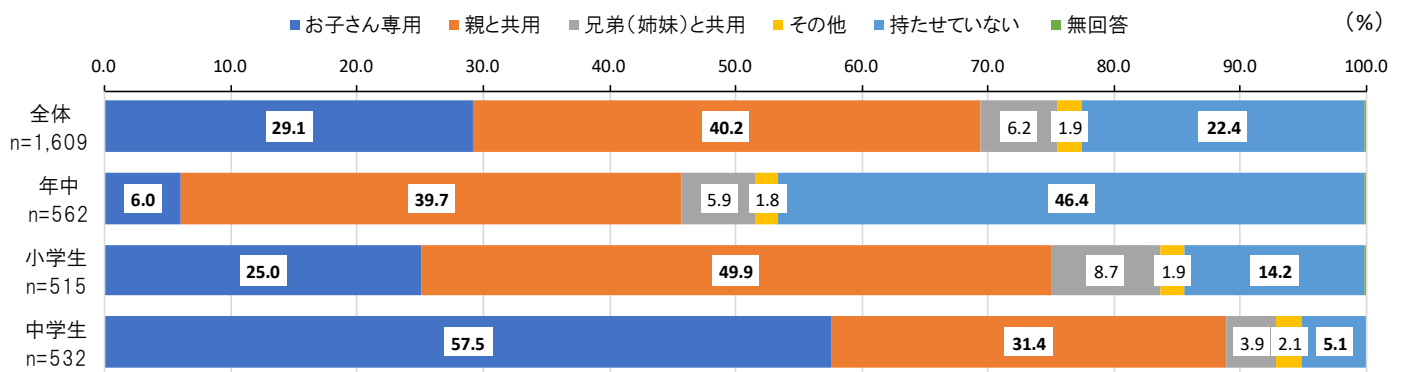
- ①回答の比率は、その設問の回答数を基数(N)として算出しています。このため、複数回答の設問については、すべての回答の比率を合計すると100%を超えます。
- ②回答数(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、すべての回答の比率を合計すると100%にならない場合があります。
- ③グラフ、数表上の選択肢の表記は、場合により語句を簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査項目と集計結果

<1 お子さんの状況について>

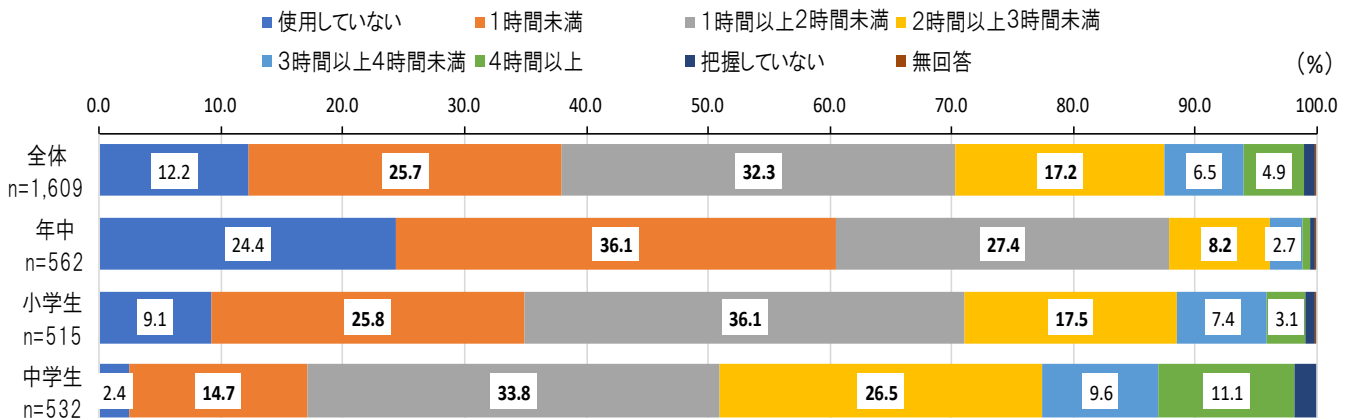
問1 デジタル機器の所持状況（単一回答）

子供がスマートフォン、タブレット、PCなどのデジタル機器（以下「デジタル機器」という）を子供専用で利用する割合は年中（6.0%）、小学生（25.0%）、中学生（57.5%）と年齢が上がるにつれ高くなっている。
一方、共用含めて持たせていないという回答は、年中（46.4%）、小学生（14.2%）、中学生（5.1%）となっている。ほとんどの子供が所持している状況である。



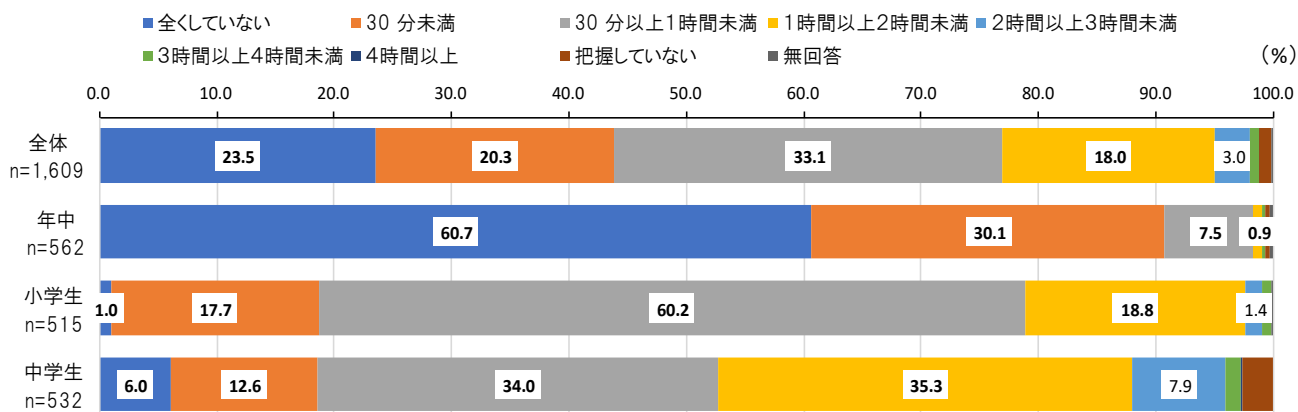
問2 デジタル機器の使用時間 ※学習時間は除く（単一回答）

平日1日あたりの子供のデジタル機器の使用時間は年齢が上がるにつれ高くなっている。
前回調査と比較して、中学生で若干増加傾向にある。本来、学習にあてられるはずの時間の確保に努める必要がある。



問3 家庭での学習時間※塾や習い事は除く（単一回答）

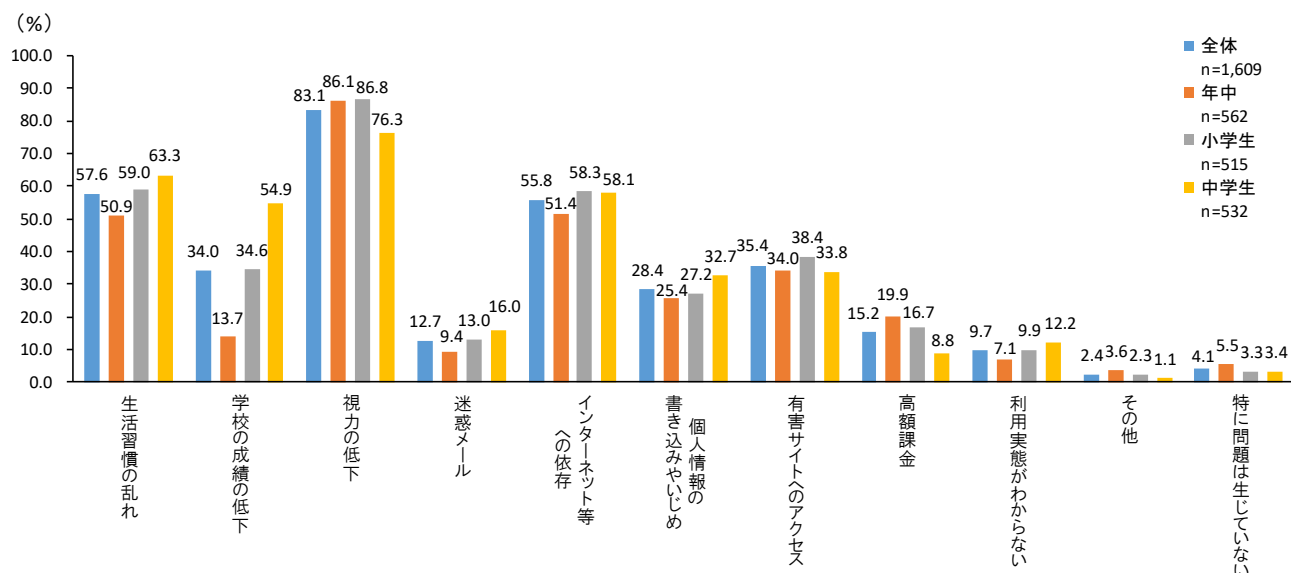
子供が家庭で学習する時間は年齢が上がるにつれ高くなっている。



問4 デジタル機器の利用に関する心配や不安（複数回答）

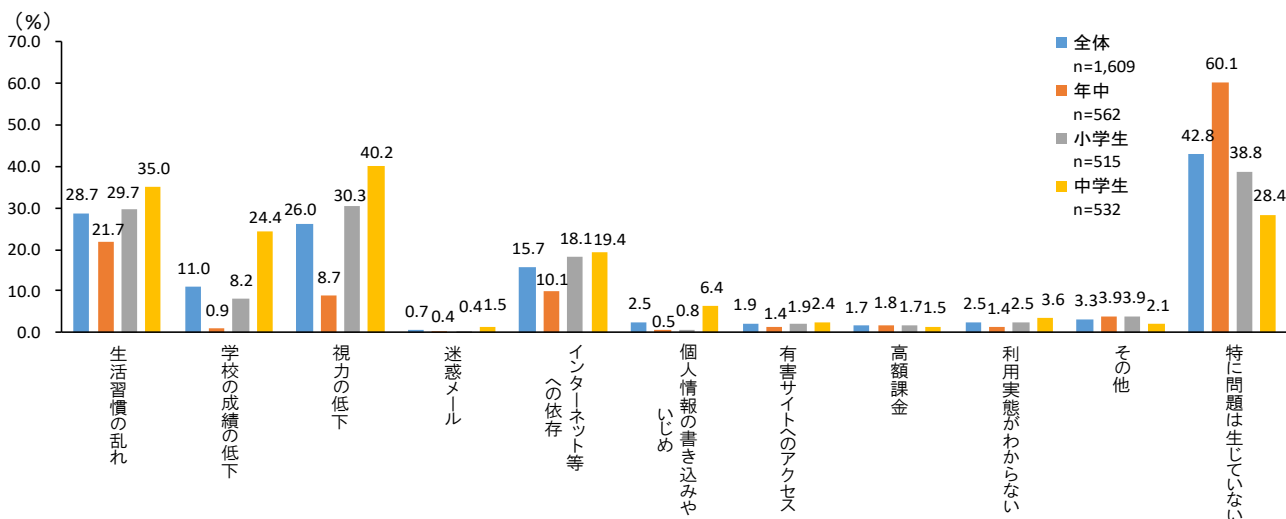
デジタル機器の利用について、保護者としての心配や不安は「視力の低下」（83.1%）が最も高くなっている。次いで、「生活習慣の乱れ」（57.6%）、「インターネット等への依存」（55.8%）の順となっている。年代が上がるにつれ、「学校の成績の低下」が高くなっている。

問5と比較するとわかるが実際に心配していることが起こっているため、事前の対策が必要である。



問5 デジタル機器の利用で困ったことやトラブル（複数回答）

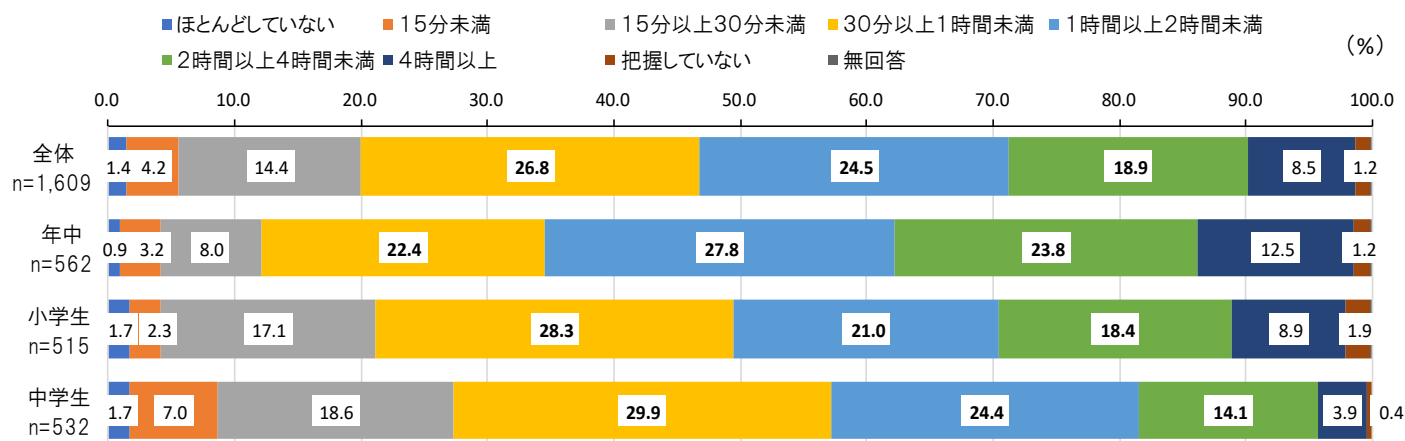
デジタル機器の利用について、困ったことやトラブルは「特に問題は生じていない」（42.8%）が最も高くなっている。年代が上がるにつれ、「特に問題は生じていない」は減少している。中学生では「視力の低下」（40.2%）が最も高く、次いで「生活習慣の乱れ」（35.0%）、「特に問題は生じていない」（28.4%）の順となっている。前回調査と比較して、ほとんどの項目で回答割合が上がっている。



<2 お子さんとの関わりについて>

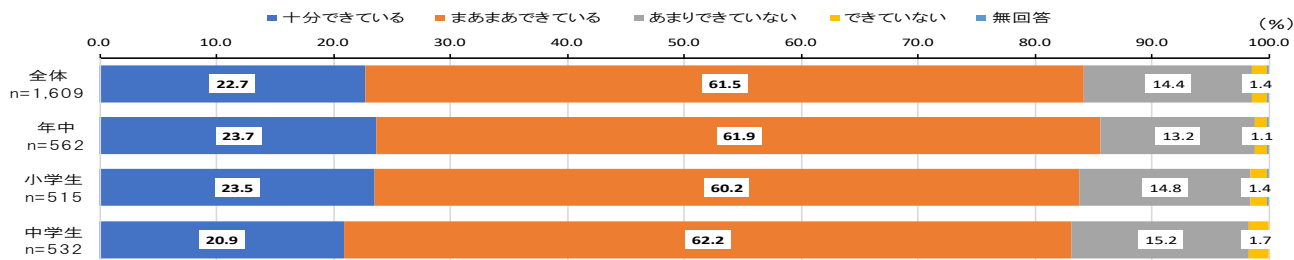
問6 お子さんと一緒に過ごす時間（単一回答）

子供と一緒に過ごす時間は年齢が上がるにつれて減少している。この傾向は前回調査から変わらないが、前回調査と比較して過ごす時間そのものが減少している。



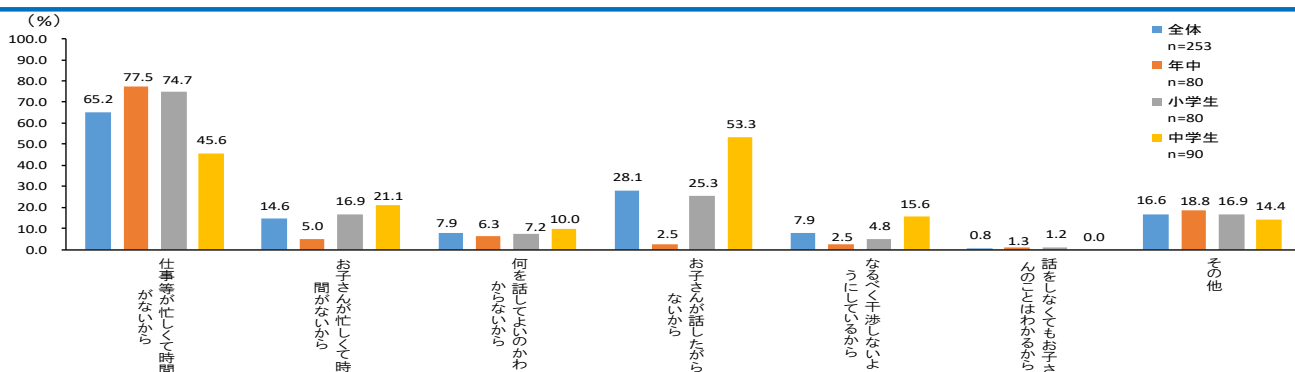
問7 お子さんとのコミュニケーション(単一回答)

お子さんとのコミュニケーションについては「十分できている」「まあまあできている」の合計はどの年代でも80%台であった。前回調査と比べて、若干減少しているものの大きな変動はない。



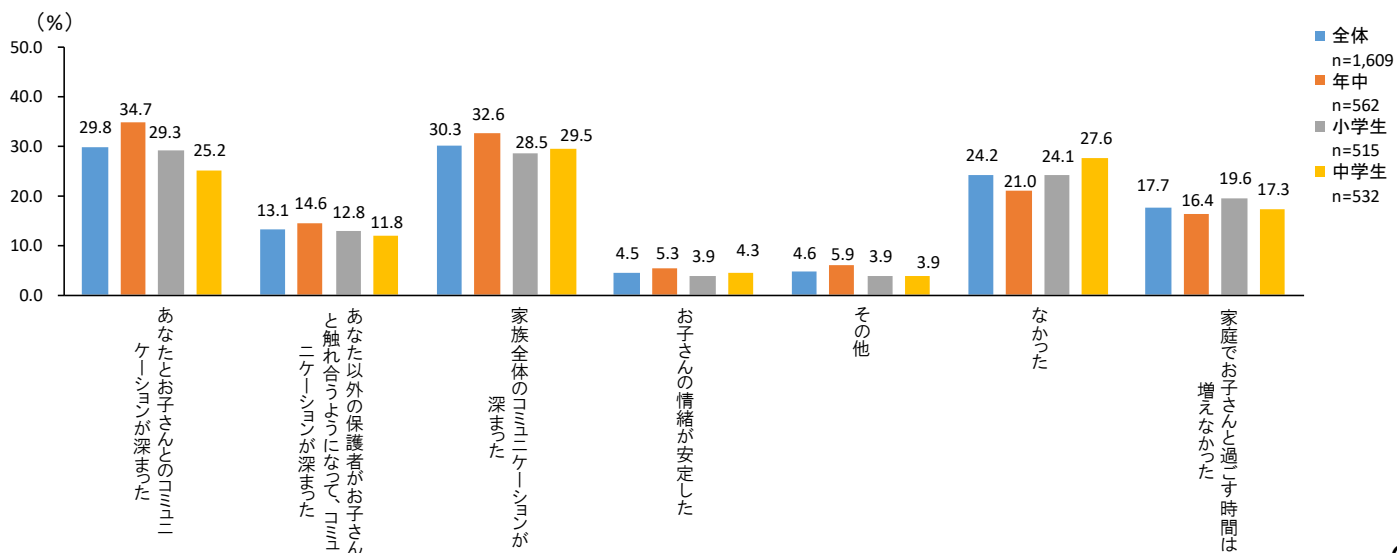
問8 問7で「あまりできていない」「できていない」を選んだ理由(複数回答)

問7で「あまりできていない」「できていない」を選んだ理由は「仕事等が忙しくて時間がないから」が年中(77.5%)、小学生(74.7%)で最も高い。中学生では「お子さんが話したから」が53.3%と最も高くなっている。前回調査と比較して、傾向としては大きな変動は見られなかった。



問9 コロナによるおうち時間の変化(良かったこと)(複数回答)

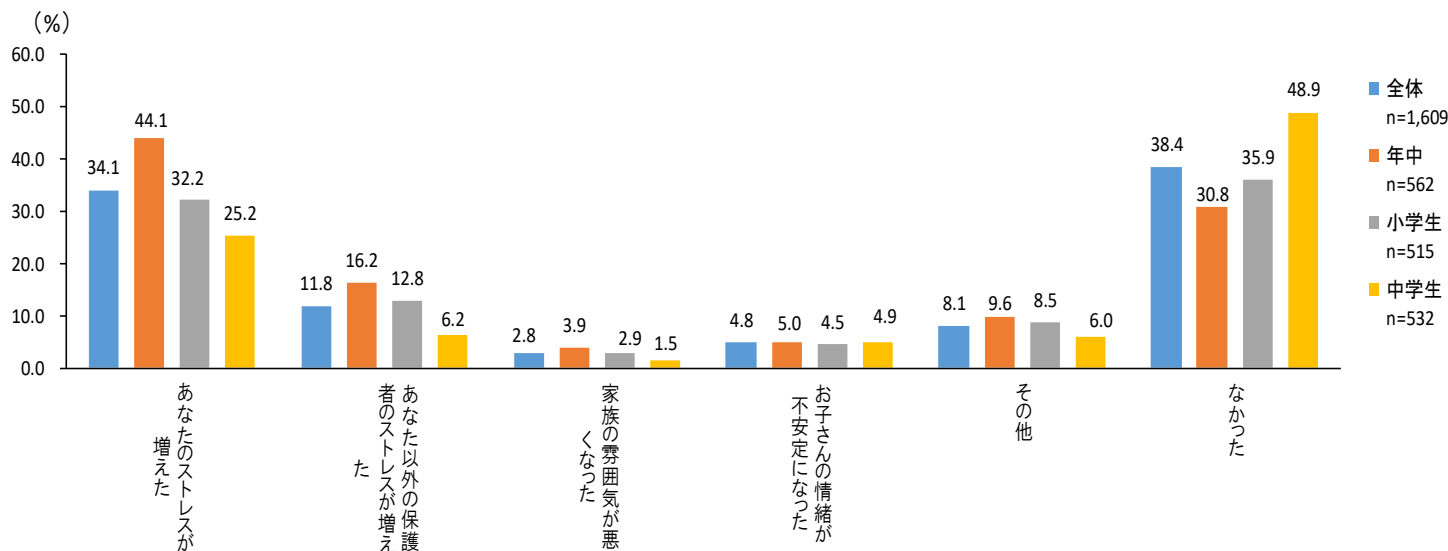
コロナによるおうち時間の変化(良かったこと)は「あなたとお子さんとのコミュニケーションが深まった」が年中(34.7%)、小学生(29.3%)で最も高い。中学生では「家族全体のコミュニケーションが深まった」が29.5%と最も高くなっている。「良かったことはなかった」と「子供と過ごす時間は増えなかった」の回答は全体でそれぞれ24.2%と17.7%となり、半数以上は何らかの形で良い変化があったとの結果になった。



問10 コロナによるおうち時間の変化（負担や悩み）（複数回答）

コロナによるおうち時間の変化（負担や悩み）は「あなたのストレスが増えた」が年中（44.1%）で最も高い。小学生、中学生では「なかった」がそれぞれ35.9%、48.9%と最も高くなっている。

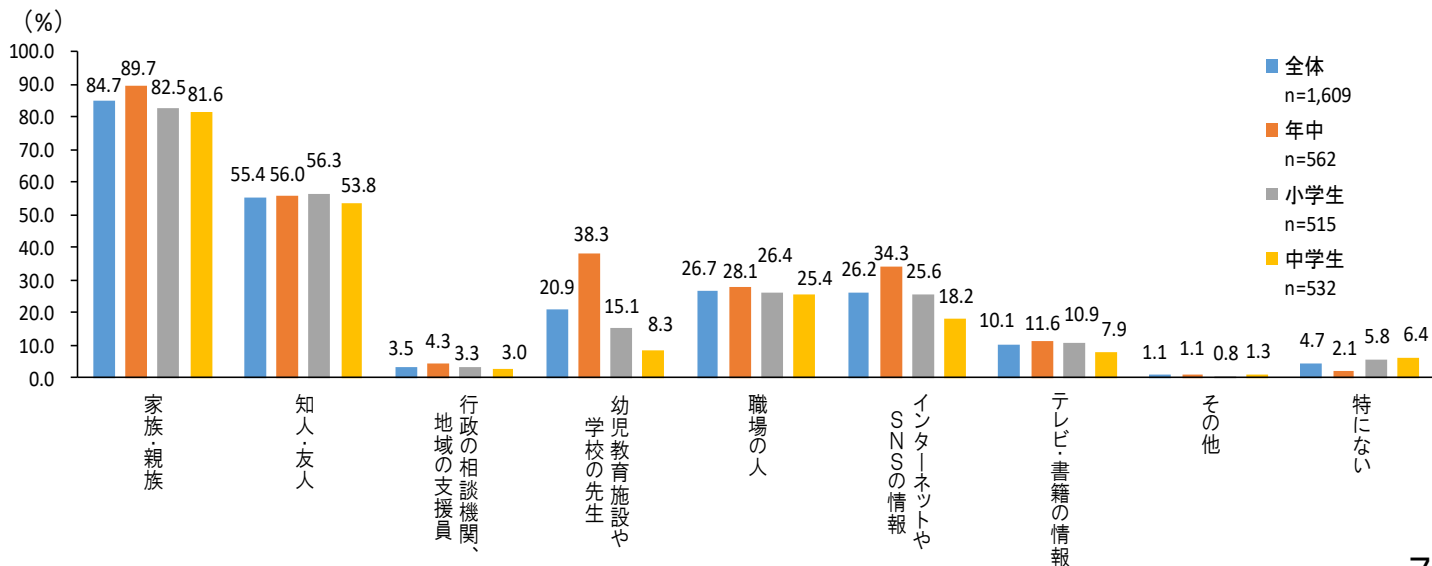
問9と比較すると良い変化があったと同時に負担や悩みも半数以上で発生していることがわかった。



問11 お子さんとの接し方やしついで困ったときの相談相手（複数回答）

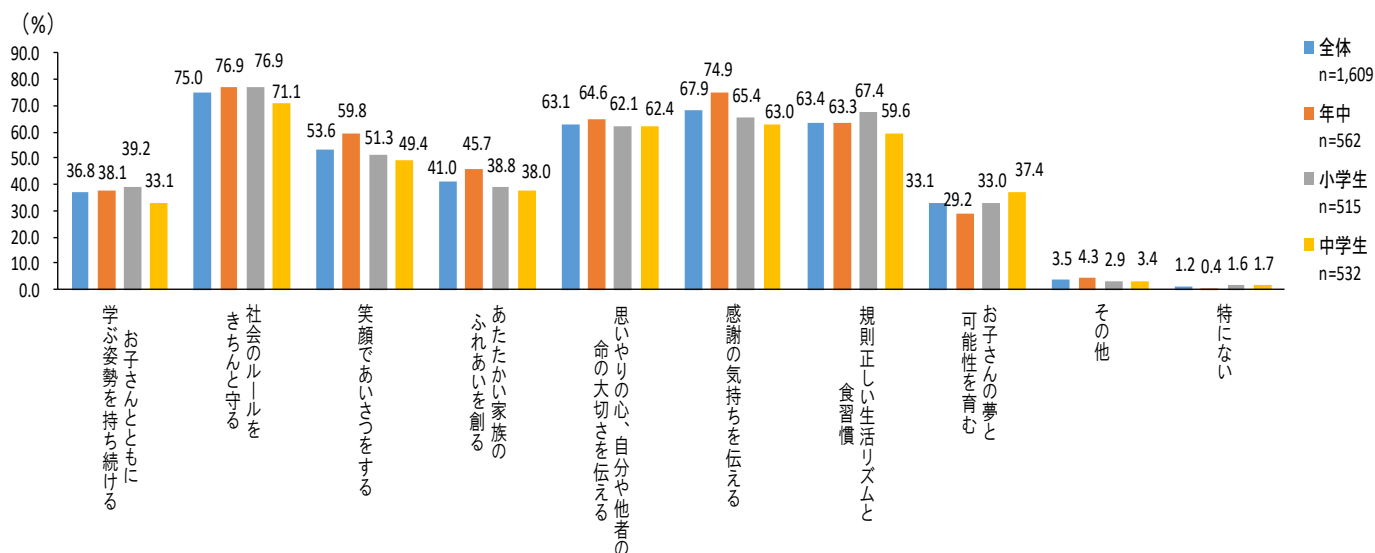
お子さんとの接し方やしついで困ったときの相談相手は全ての年代で「家族・親族」が最も高く、次いで「知人・友人」の順となっている。「幼児教育施設や学校の先生」が年中で38.3%と他の年代と比較して高くなっている。

相談相手が「特にない」と回答した割合はどの年代でも一桁台の割合となった。多くの方は誰かに相談したいことがあり、家族や知人など親しい間柄の人に相談していることがわかった。



問12 お子さんの教育で日頃から特に心がけていること（複数回答）

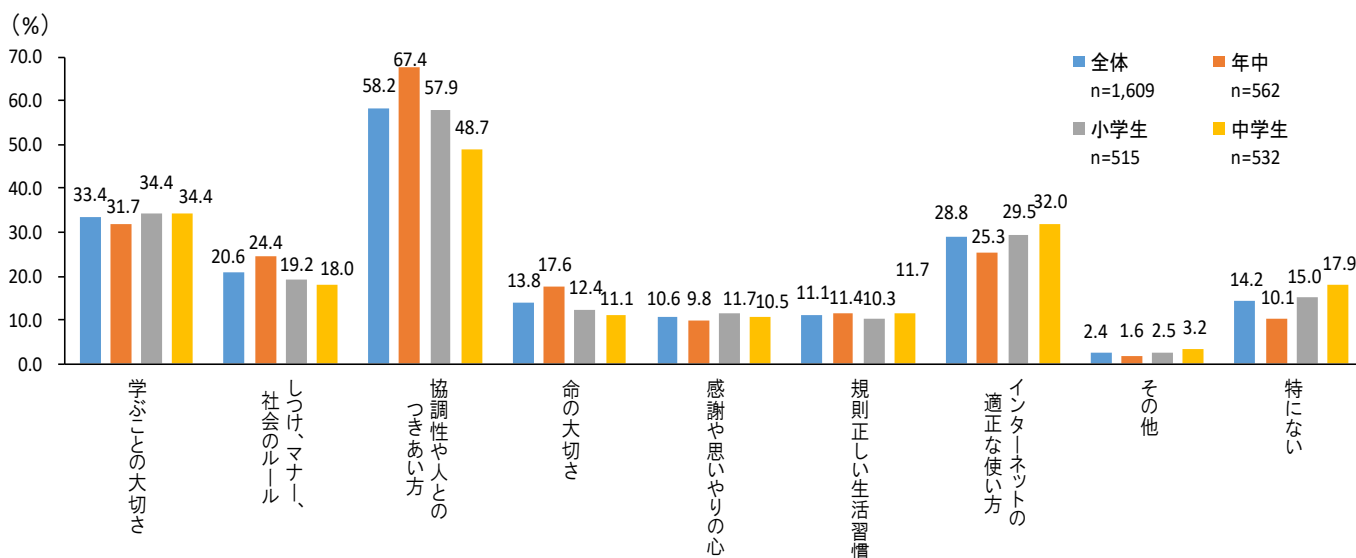
子供を教育する上で日頃から特に心がけていることは全ての年代で「社会のルールをきちんと守る」が最も高く、70%を超えている。また、「思いやりの心、自分や他者の命の大切さを伝える」「感謝の気持ちを伝える」「規則正しい生活リズムと食習慣」は全ての年代で半数を超えている。前回調査と比べて「社会のルールを守る」が大きく増加している。



問13 家庭で教えるのが難しいこと（複数回答）

家庭で教えるのが難しいことは全ての年代で「協調性や人とのつきあい方」が最も高く、次いで「学ぶことの大切さ」「インターネットの適正な使い方」の順となっている。

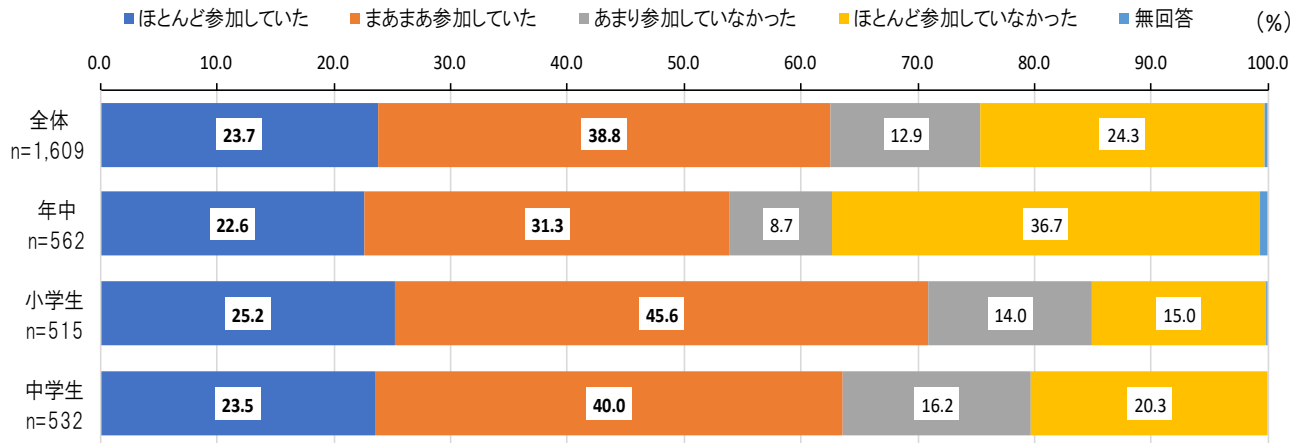
割合が高い項目については家庭以外の外部機関で学ぶ必要がある。



<3 地域、学校等とのつながりについて>

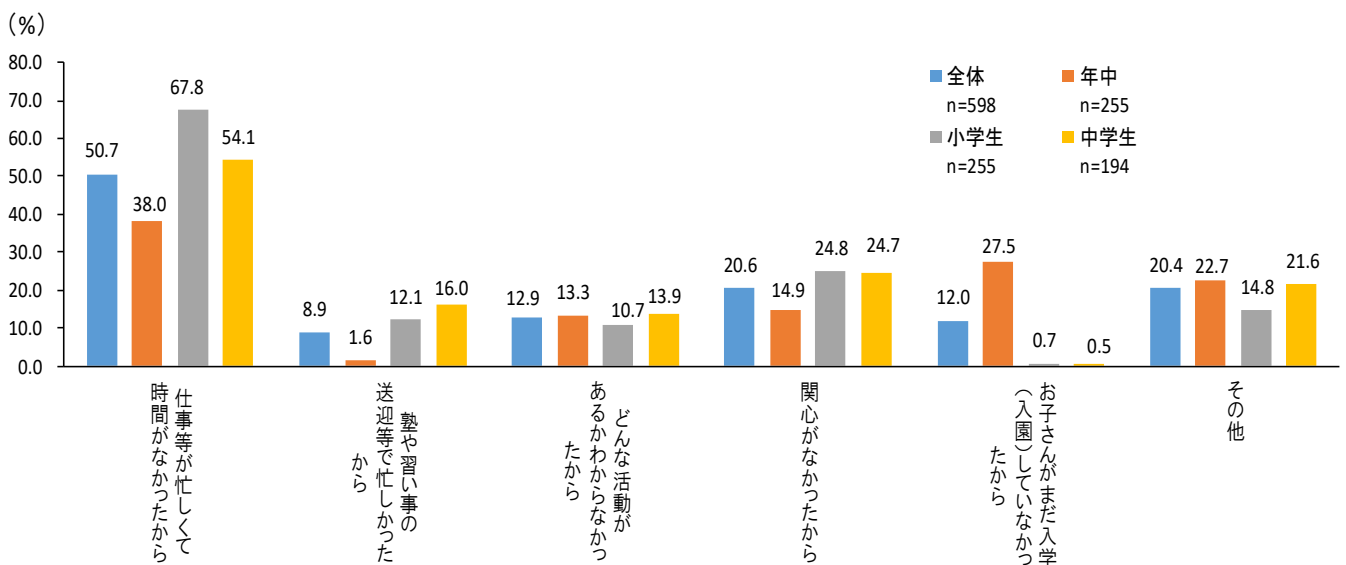
問14 保護者会行事への参加（単一回答）

保護者会行事への参加については「ほとんど参加していた」「まあまあ参加していた」の合計が小学生で70.8%と最も高く、次いで中学生で63.5%、年中で53.9%の順となった。前回調査と比較して参加割合が減少している。



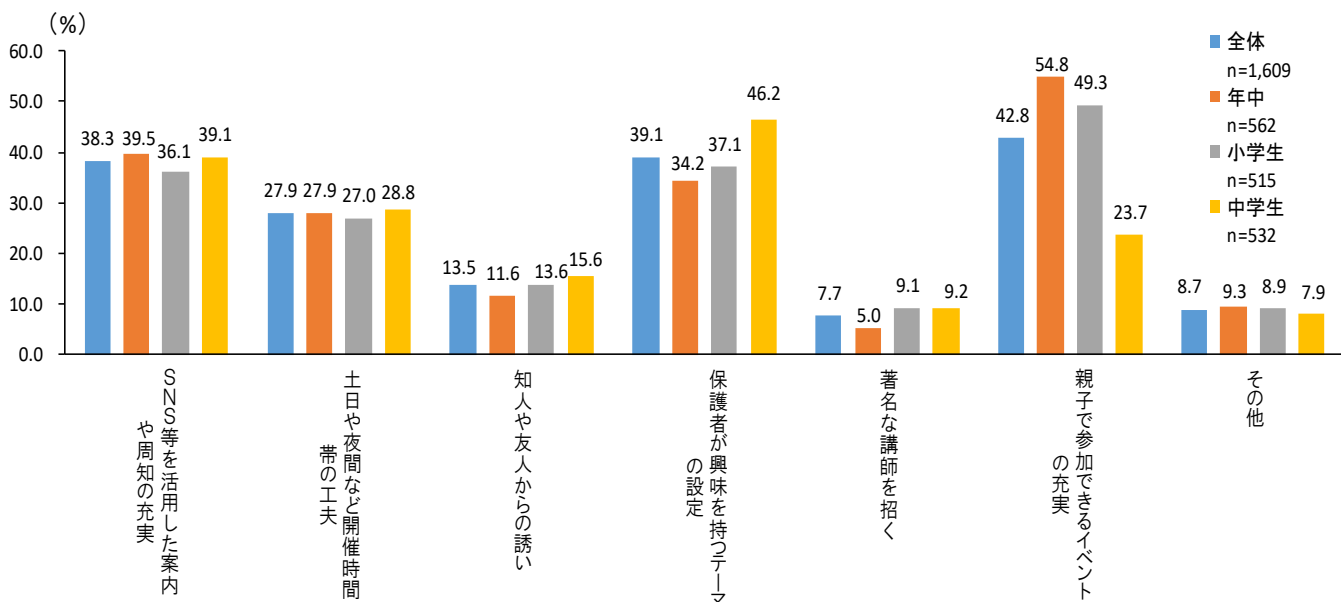
問15 問14で「あまり参加していなかった」「ほとんど参加していなかった」を選択した理由（複数回答）

問14で「あまり参加していなかった」「ほとんど参加していなかった」を選択した理由はどの年代でも「仕事等が忙しくて時間がなかったから」が最も高くなっている。「その他」の回答にはコロナの影響が最も多く見られた。



問16 保護者会行事に参加を促すための取り組み（複数回答）

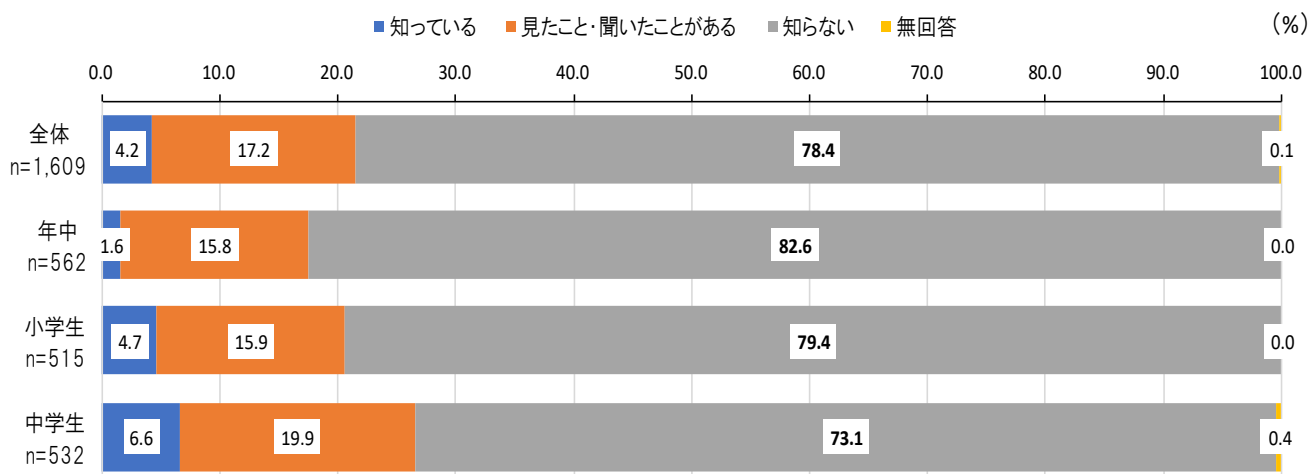
保護者会行事に参加を促すための取り組みは「親子で参加できるイベントの充実」が年中（54.8%）と小学生（49.3%）で最も高く、「保護者が興味を持つテーマの設定」が中学生（46.2%）で最も高くなっている。前回調査と比較して「親子で参加できるイベントの充実」と「SNS等を活用した案内や周知の充実」を希望する割合が増加している。



<4 金沢市教育委員会の家庭教育推進事業について>

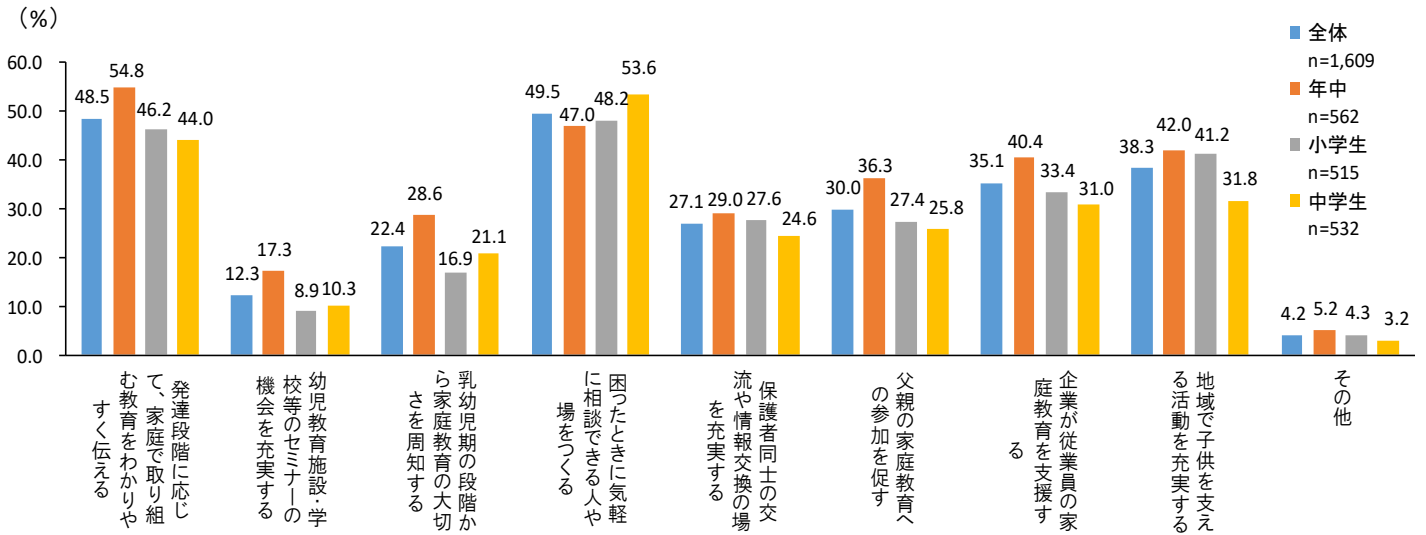
問17 「家庭で子供を育むための8つのすすめ」（単一回答）

「家庭で子供を育むための8つのすすめ」を「知っている」または「見たこと・聞いたことがある」割合は年代が上がるにつれて高くなっている。認知度を高める施策が求められている。



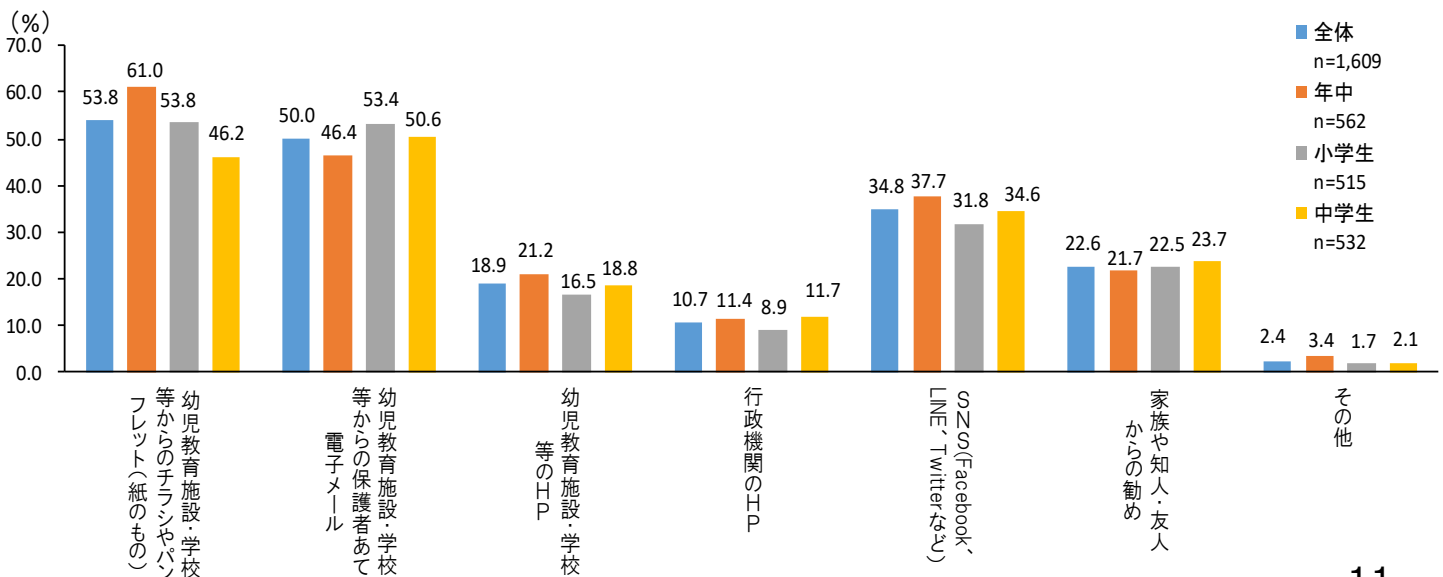
問18 家庭教育を推進するために必要な取り組み（複数回答）

家庭教育を推進するために必要な取り組みは「発達段階に応じて、家庭で取り組む教育をわかりやすく伝える」が年中（54.8%）で最も高く、「困ったときに気軽に相談できる人や場をつくる」が小学生（48.2%）、中学生（53.6%）で最も高くなっている。この設問の項目間で差がみられるものの、多くの取り組みが必要とされている。



問19 効果的な情報発信手段（複数回答）

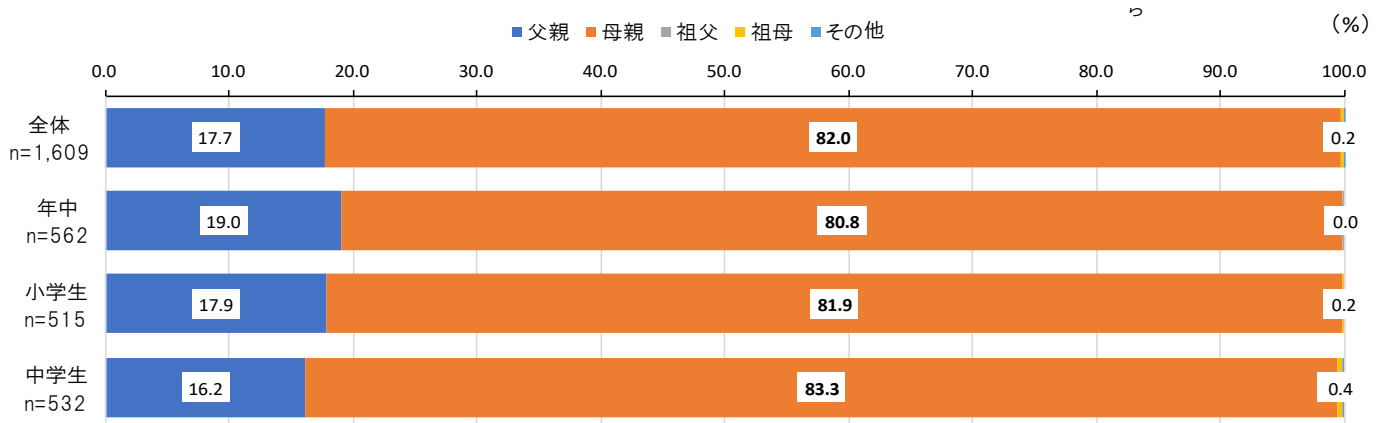
効果的な情報発信手段は「幼児教育施設・学校等からのチラシやパンフレット（紙のもの）」が年中（61.0%）、小学生（53.8%）で最も高く、「幼児教育施設・学校等からの保護者あて電子メール」が中学生（50.6%）で最も高くなっている。デジタル機器の普及が進んでいるものの、発信手段としてはネットよりも紙媒体を望む回答が多い結果となった。前回調査と比較してSNSの割合が増加している。



<5 ご回答された方について>

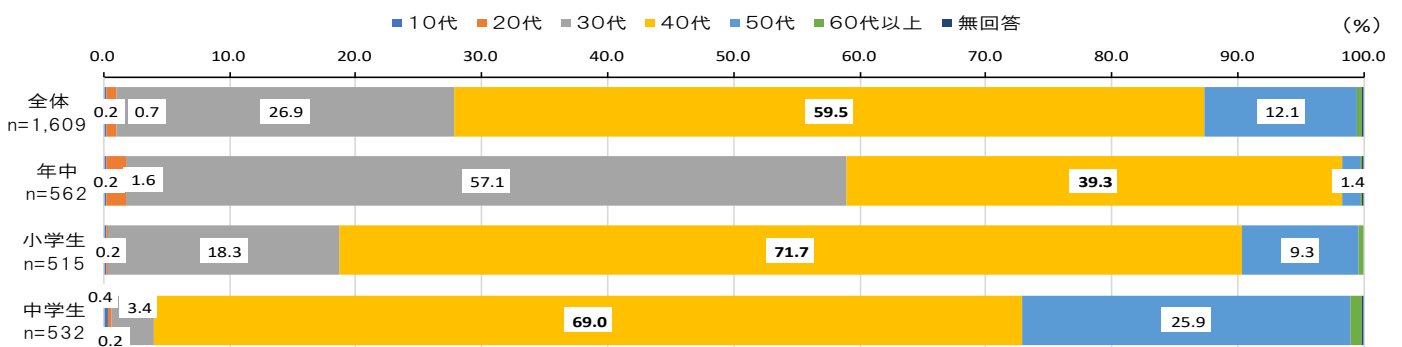
問20 回答された方の続柄（お子さんからみて）（単一回答）

どの年代でも「父親」が20%弱で、「母親」が80%台となっている。



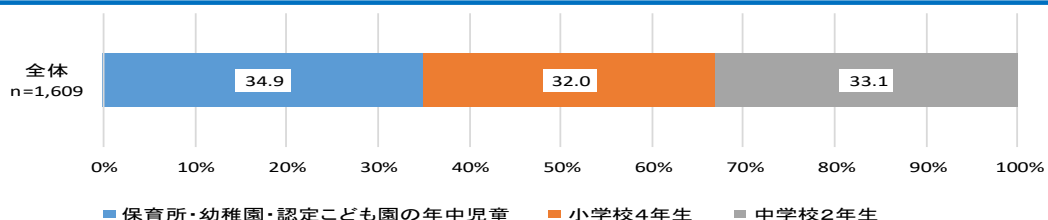
問21 回答された方の年代（単一回答）

回答者の年代は年中で30代（57.1%）が最も高く、「40代」が小学生（71.7%）、中学生（69.0%）で最も高くなっている。



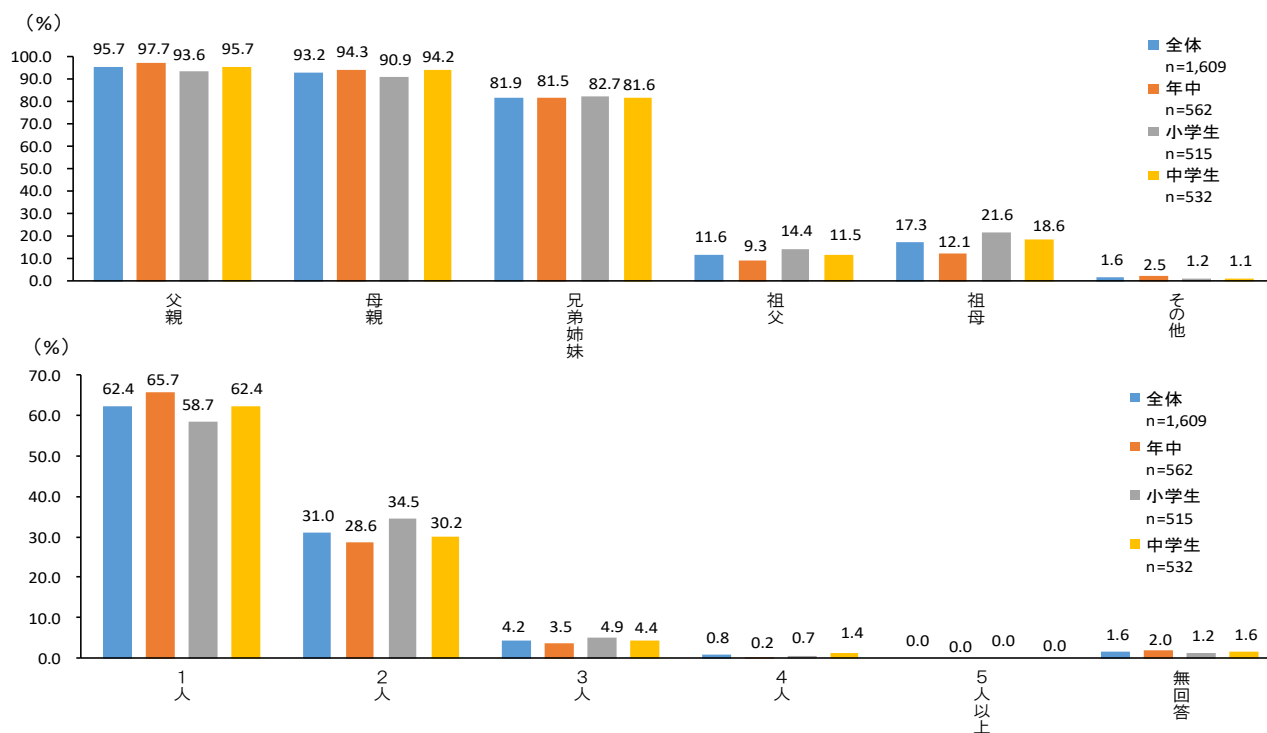
問22 封筒宛名のお子さんの学年（単一回答）

回答者は保育所・幼稚園・認定こども園の年中、小学校4年生、中学校2年生がそれぞれ30%台で均等な結果となっており、年代で大きな差は見られない。



問23 家族（同居）の構成員（複数回答）、兄弟姉妹の人数

どの年代でも90%以上が「父親」または「母親」と同居しており、80%以上の家庭で「兄弟姉妹」がいる。調査対象の子供を除く「兄弟姉妹」の人数はどの年代でも「1人」が最も高くなっている。



Ⅲ 調査票

保護者のみなさまへ

「家庭教育に関する保護者意識調査」へのご協力をお願い

日頃から、本市教育行政に対し、深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この調査は、金沢市内にお住まいの保護者の方に、日頃のお子さんの状況や、お子さんとの関わり、家庭教育に関するお考えなどをお伺いし、今後の家庭教育の振興策に役立てることを目的としております。

ご負担をおかけいたしますが、趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年7月

金沢市教育委員会生涯学習課

1. 調査の対象

金沢市内にお住まいの「保育所・幼稚園・認定こども園の年中(令和3年4月1日現在で4歳の児童)」「小学校4年生」「中学校2年生」のお子さんの保護者の方
3000名(無作為による抽出)

2. ご回答方法

下記のいずれかの方法を選択ください。(回答に要する時間は10分程度です)

①インターネットによる回答

右記の二次元バーコードを読み取り、又はURLを入力し、「金沢市電子申請サービス」からご回答ください。

URL:

https://s-kantan.jp/city-kanazawa-ishikawa-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=998

※インターネットでご回答いただいた方は、紙の調査票の返送は不要です。

②郵送による回答

調査票をご記入後、同封の返信用封筒(切手不要)に封入し、郵便ポストに投函してください。



3. ご回答期限

令和3年8月20日(金)

4. データの取り扱い等

- 調査は、無記名で実施します。
- ご回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、個別のご意見などがそのまま公表されることは一切ありません。
- 日頃の家庭の様子や保護者としての率直なお気持ちをお聞かせください。
- 調査結果は、まとめ次第「かなざわ家庭教育サイト」に掲載する予定です。

本調査について、ご不明な点等がございましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 金沢市教育委員会生涯学習課 家庭教育振興室
電話:076-220-2441 FAX:076-220-2488
E-mail:syougaku@city.kanazawa.lg.jp

家庭教育に関する保護者意識調査

アンケートご記入にあたってのお願い

- このアンケートで「お子さん」とは、封筒宛名のお子さんのことをさします。
以下の問いでは、封筒宛名のお子さんについてのみ、お答えください。
- 「家庭教育」とは、「保護者が家庭で子に行う教育」のことをさします。
答えにくい質問があるかもしれませんが、あまり考えこまず、お答えできる範囲で
ご回答ください。

1 お子さんの状況について

問1 お子さんが主に利用するスマートフォン、タブレット、PCなどのデジタル機器（以下「デジタル機器」という）はだれのものですか。
あてはまる番号に○をつけてください。（1つだけ）

- 1. お子さん専用
- 2. 親と共用
- 3. 兄弟（姉妹）と共用
- 4. その他（ ）
- 5. 持たせていない

問2 お子さんは平日1日あたりどれくらいの時間、デジタル機器を使用（学習を除く）していますか。※動画の視聴やゲームをしている時間を含みます。
あてはまる番号に○をつけてください。（1つだけ）

- 1. 使用していない
- 2. 1時間未満
- 3. 1時間以上2時間未満
- 4. 2時間以上3時間未満
- 5. 3時間以上4時間未満
- 6. 4時間以上
- 7. 把握していない

問3 お子さんは、平日1日あたりどれくらいの時間、家庭で学習していますか。
※塾や習い事などでの学習時間は除きます。
あてはまる番号に○をつけてください。（1つだけ）

- 1. 全くしていない
- 2. 30分未満
- 3. 30分以上1時間未満
- 4. 1時間以上2時間未満
- 5. 2時間以上3時間未満
- 6. 3時間以上4時間未満
- 7. 4時間以上
- 8. 把握していない

問7 お子さんとの遊びや会話を通したコミュニケーションは、できていると思いますか。

あてはまる番号に○をつけてください。(1つだけ)

1. 十分できている (→問9へ)
2. まあまあできている (→問9へ)
3. あまりできていない (→問8へ)
4. できていない (→問8へ)

問8 ※問7で3、4を選んだ方にお聞きします。

お子さんとの遊びや会話を通したコミュニケーションが「あまりできていない」「できていない」と思ったのは、なぜですか。

あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべて)

1. 仕事等が忙しくて時間がないから
2. お子さんが忙しくて時間がないから
3. 何を話してよいのかわからないから
4. お子さんが話したがらないから
5. なるべく干渉しないようにしているから
6. 話をしなくてもお子さんのことはわかるから
7. その他 ()

問9 新型コロナウイルス感染症の影響(外出制限、保護者の働き方の変化等)で、お子さんと家庭で過ごす時間が増えたことで、よかったことはありましたか。

あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべて)

1. あなたとお子さんとのコミュニケーションが深まった
2. あなた以外の保護者がお子さんと触れ合うようになって、コミュニケーションが深まった
3. 家族全体のコミュニケーションが深まった
4. お子さんの情緒が安定した
5. その他 ()
6. なかった
7. 家庭でお子さんと過ごす時間は増えなかった (→問11へ)

問10 逆に、お子さんと家庭で過ごす時間が増えたことで、負担に感じたことや悩んだことはありましたか。

あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべて)

1. あなたのストレスが増えた
2. あなた以外の保護者のストレスが増えた
3. 家族の雰囲気が悪くなった
4. お子さんの情緒が不安定になった
5. その他 ()
6. なかった

3 地域、学校等とのつながりについて

問 14 新型コロナウイルス感染症拡大以前の時期（令和2年2月以前）において、あなたは保護者会やPTA・育友会活動の行事等に参加していましたか。
あてはまる番号に○をつけてください。（1つだけ）

1. ほとんど参加していた（→問 16 へ）
2. まあまあ参加していた（→問 16 へ）
3. あまり参加していなかった（→問 15 へ）
4. ほとんど参加していなかった（→問 15 へ）

問 15 ※問 14 で 3. 4 を選んだ方にお聞きします。
保護者会やPTA・育友会活動の行事等に参加していなかった理由は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまるものすべて）

1. 仕事等が忙しくて時間がなかったから
2. 塾や習い事の送迎等で忙しかったから
3. どんな活動があるかわからなかったから
4. 関心がなかったから
5. お子さんがまだ入学（入園）していなかったから
6. その他（ ）

問 16 保護者会やPTA・育友会活動の行事等に参加を促すため、どのような取り組みがあればよいと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。（あてはまるものすべて）

1. SNS等を活用した案内や周知の充実
2. 土日や夜間など開催時間帯の工夫
3. 知人や友人からの誘い
4. 保護者が興味を持つテーマの設定
5. 著名な講師を招く
6. 親子で参加できるイベントの充実
7. その他（ ）

4 金沢市教育委員会の家庭教育推進事業について

問 17 家庭は教育の出発点であり、お子さんの心のよりどころです。
金沢市教育委員会では、「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」（次ページ）
を呼びかけていますが、あなたは知っていますか。
あてはまる番号に○をつけてください。（1つだけ）

1. 知っている
2. 見たこと・聞いたことがある
3. 知らない

問 17 の続き

<家庭で子どもを育むための「8つのすすめ」>



家庭教育に関する情報
かなざわ家庭教育サイト
をご覧ください！



問 18 家庭教育を推進するため、どのような取り組みが特に必要だと考えますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべて)

1. 発達段階に応じて、家庭で取り組む教育をわかりやすく伝える
2. 幼児教育施設・学校等のセミナーの機会を充実する
3. 乳幼児期の段階から家庭教育の大切さを周知する
4. 困ったときに気軽に相談できる人や場をつくる
5. 保護者同士の交流や情報交換の場を充実する
6. 父親の家庭教育への参加を促す
7. 企業が従業員の家庭教育を支援する
8. 地域で子供を支える活動を充実する
9. その他 ()

問 19 家庭教育に関する情報は、どの発信手段が効果的だと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべて)

1. 幼児教育施設・学校等からのチラシやパンフレット (紙のもの)
2. 幼児教育施設・学校等からの保護者あて電子メール
3. 幼児教育施設・学校等のHP
4. 行政機関のHP
5. SNS (Facebook、LINE、Twitter など)
6. 家族や知人・友人からの勧め
7. その他 ()

5 ご回答された方について

問 20 この調査票を回答された方はどなたですか。(封筒宛名のお子さんからみた続柄)
あてはまる番号に○をつけてください。

1. 父親
2. 母親
3. 祖父
4. 祖母
5. その他 ()

問 21 この調査票を回答された方の年代をお答えください。
あてはまる番号に○をつけてください。

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代以上

問 22 調査対象のお子さん(封筒宛名のお子さん)の学年をお答えください。

1. 保育所・幼稚園・認定こども園の年中児童
2. 小学校4年生
3. 中学校2年生

問 23 お子さんの家族(同居)の構成員について、あてはまるものをすべて選んでください。

1. 父親
2. 母親
3. 兄弟姉妹 () 人 ※調査対象のお子さんは含みません
4. 祖父
5. 祖母
6. その他 ()

問 24 お子さんの家族のうち就業(パートを含む)している方をすべて選んでください。

1. 父親
2. 母親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父
5. 祖母
6. その他 ()

6 家庭教育に対するご意見について

問 25 不安や悩み等、家庭教育に対するご意見をご自由にお書きください。

調査へのご協力、誠にありがとうございました。